

# Demo software for MSR003RJ

## 確認ソフト操作説明書

SoftWare	MSR003RJDEMO VER 1.0
Product Model	MSR003RJ

### 変更履歴

版	日付	担当者	更新内容
0001-01	2019/06/26	Y. N.	初版

# 目次

I . はじめに .....	- 3 -
II . デモソフトの準備 .....	- 3 -
II-1. デモソフトのダウンロード .....	- 3 -
II-2. デモソフト起動前の準備 .....	- 3 -
II-3. デモソフトの起動 .....	- 4 -
II-4. デモソフト画面の説明 .....	- 5 -
III . デモソフトの操作 .....	- 6 -
III-1. メニューバー .....	- 6 -
III-1-1. 操作 .....	- 6 -
III-1-2. 言語 .....	- 7 -
III-1-3. ヘルプ .....	- 7 -
III-1-4. デバイススキャン .....	- 7 -
III-2. 設定/機能タブ .....	- 8 -
III-2-1. カードリーダー .....	- 8 -
III-2-1-1. 一般設定 .....	- 8 -
III-2-1-2. ISO・JIS2 .....	- 9 -
III-2-1-3. 各種ボタン .....	- 11 -
III-2-2. 拡張 .....	- 11 -
III-2-3. アスキーテーブル .....	- 12 -
III-2-4. カードリーダーテスト .....	- 14 -
III-3. ステータスバー .....	- 14 -
IV . 保証事項 .....	- 15 -
IV-1. 保証期間 .....	- 15 -
IV-2. 保証対象 .....	- 15 -
IV-3. 有償保証 .....	- 15 -
IV-4. 仕様変更 .....	- 15 -

## I. はじめに

本説明書は磁気カードリーダーMSR003RJの動作確認と本体設定を実施するデモソフトの操作説明を記載しています。

デモソフトを操作する場合には Windows のパソコンを準備する必要があります。なお、デモソフトはインストールの必要がありません。

## II. デモソフトの準備

MSR003RJ の動作確認をするための、デモソフトの準備について説明します。

### II-1. デモソフトのダウンロード

当該製品をご購入時に、弊社よりソフトウェアのダウンロード専用 URL をメールにてお送りしております。URL より MSR003RJ 用の zip ファイルをダウンロードして下さい。

### II-2. デモソフト起動前の準備

ダウンロードした zip ファイルを解凍してください。解凍したフォルダ内に、以下のファイルが格納されているか確認してください。

- MSR003RJDEMO フォルダ
  - MSR003RJDEMO.exe (デモソフト起動ファイル)
  - MsrRjDll.dll (デモソフト用 dll ファイル)
  - default.dat (dat ファイル\_初期化用)

また、デモソフトを起動する前に、MSR003RJ 本体を PC に接続してください。

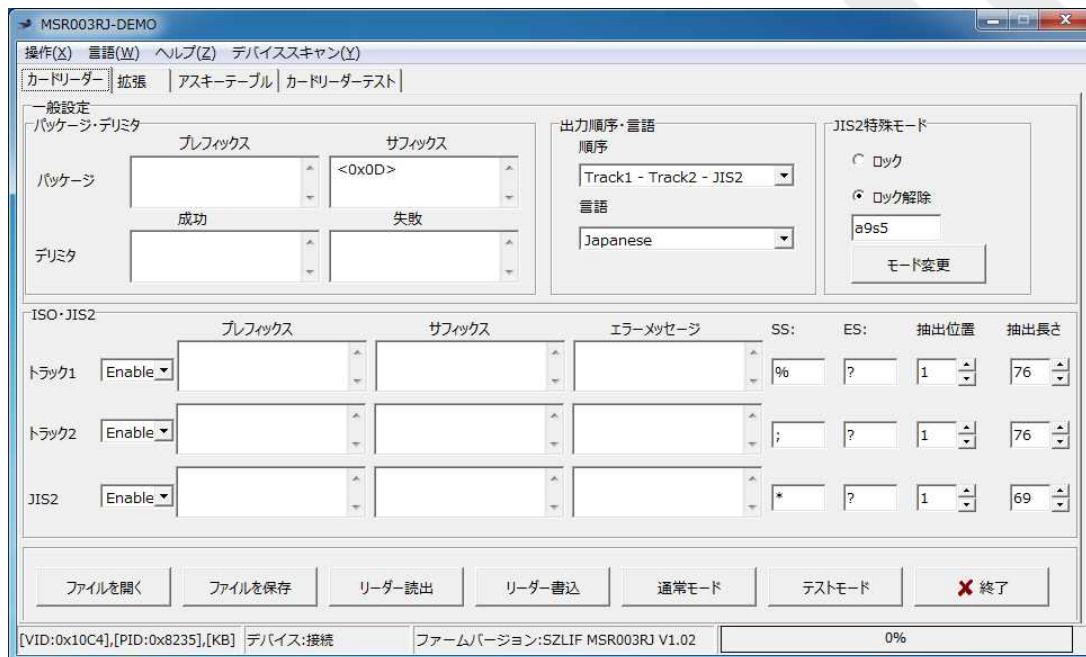
## II-3. デモソフトの起動

解凍したフォルダ内にある“MSR003RJDEMO.exe”を選択し、以下の手順で起動して下さい。

- ① MSR003RJDEMO.exe をダブルクリックする。

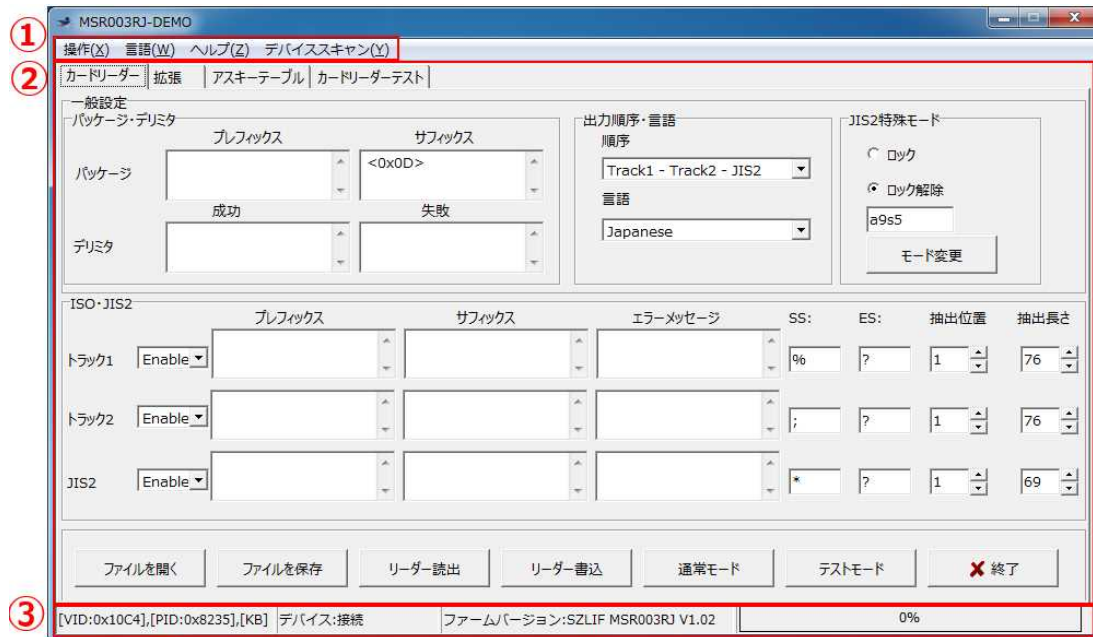


- ② MSR003RJDEMO 画面が表示される。



## Ⅱ-4. デモソフト画面の説明

起動画面は以下の通りです。



機能名	説明
① メニューバー	ファイル操作、言語の切替、バージョン確認と接続デバイスの確認ができます。
② 設定/機能タブ	各タブの機能を使い、MSR003RJ 本体に設定やテストを実施することができます。
③ ステータスバー	デバイスの接続状態、接続デバイスのファームウェアバージョン情報、リーダー書込時の進捗の確認ができます。

### Ⅲ. デモソフトの操作

MSR003RJ の出力設定をするために、デモソフトの機能について説明します。

#### Ⅲ-1. メニューバー

メニューバーから実施できる操作を説明します。

##### Ⅲ-1-1. 操作

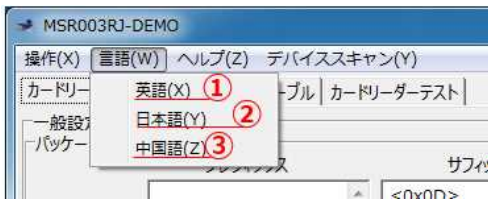
メニューバーの[操作]から実施できる操作を説明します。



項目	詳細
① ファイルを開く	選択した dat ファイルから設定情報を読み込み、デモソフト上に展開します。
② ファイルを保存	デモソフト上に展開/入力されている設定情報を、dat ファイル形式にて保存します。
③ リーダー読込	MSR003RJ 本体から設定情報を読み込み、デモソフト上に展開します。
④ リーダー書込	デモソフト上に展開/入力されている設定情報を、MSR003RJ 本体に書き込みます。
⑤ 通常モード	読み取ったカード情報を、そのまま読み取る「通常モード」に切り替えます。
⑥ テストモード	読み取ったカード情報を、16進法として読み取る「テストモード」に切り替えます。
⑦ 終了	デモソフトを終了します。終了選択時、展開/入力されている設定情報は保存されません。

### Ⅲ-1-2. 言語

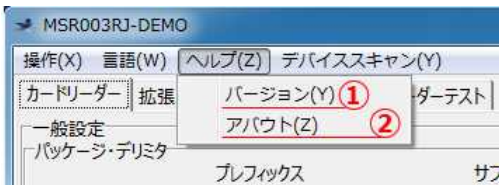
メニューバーの[言語]から実施できる操作を説明します。



項目	詳細
① 英語	デモソフトの表示をすべて英語にします。
② 日本語	デモソフトの表示をすべて日本語にします。
③ 中国語	デモソフトの表示をすべて中国語にします。

### Ⅲ-1-3. ヘルプ

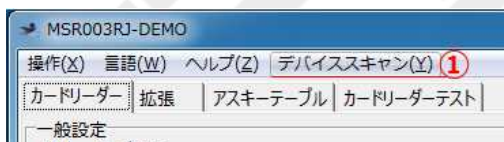
メニューバーの[ヘルプ]から実施できる操作を説明します。



項目	詳細
① バージョン	接続されている MSR003RJ 本体のバージョンを表示します。
② アバウト	デモソフトのバージョンを表示します。

### Ⅲ-1-4. デバイススキャン

メニューバーの[デバイススキャン]から実施できる操作を説明します。



項目	詳細
① デバイススキャン	<p>MSR003RJ 本体が接続されているか確認をします。</p> <p>成功時：                      失敗時：</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 150px; text-align: center;"> <p>MSR003RJDEMO</p> <p>デバイススキャン 成功</p> <p>OK</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 150px; text-align: center;"> <p>MSR003RJDEMO</p> <p>デバイススキャン 失敗</p> <p>OK</p> </div> </div> <p>接続が確立していないと、デモソフトからの設定書き込み/読み込みができません。</p>



## Ⅲ-2. 設定/機能タブ

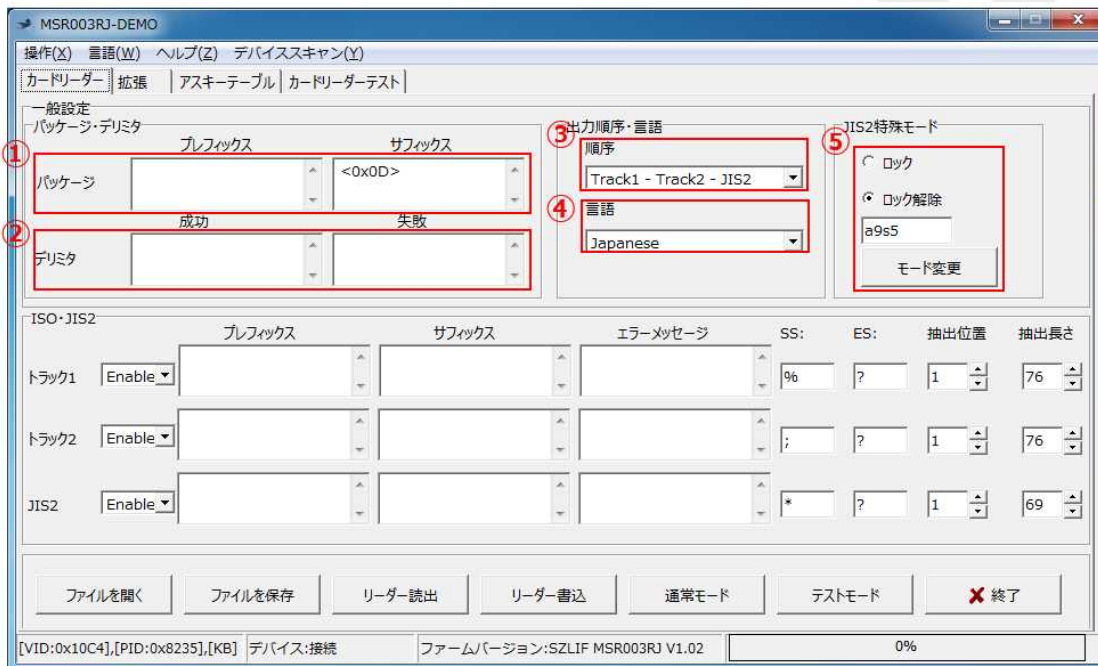
各種タブで実施できる機能について説明します。

### Ⅲ-2-1. カードリーダー

「カードリーダー」タブでは、読み取った情報の出力方法を設定することができます。

#### Ⅲ-2-1-1. 一般設定

「一般設定」にある各機能の説明をします。



項目	詳細
① プレフィックス/サフィックス (パッケージ)	読み取ったパッケージ情報の先頭と末尾に、それぞれ[プレフィックス]と[サフィックス]に設定した値を挿入して出力します。設定可能な値は、任意文字列と<0x00>~<0x1F>のアスキーコードです。
② プレフィックス/サフィックス (デリミタ)	情報読み取りの成否によって、それぞれ[プレフィックス]と[サフィックス]に設定した値を挿入して出力します。設定可能な値は、任意文字列と<0x00>~<0x1F>のアスキーコードです。
③ 出力順序	[Track1]、[Track2]、[JIS2]の出力順序を設定します。
④ 言語※1	USA、Finland、French、German、Italian、Spanish、Japanese、Czechから言語を選択できます。
⑤ JIS2 特殊モード※2	a9及びs5から始まる金融系磁気カードの読取制限の有無を設定します。出荷時は“ロック”状態です。

※1:[Japanese]から変更しないでください。それ以外だと、動作の保証ができません。

※2:ロック解除をするには、書類の提出等お手続きが必要になります。必要な方は弊社までご連絡ください。



default 値は以下になります。

一般設定

パッケージ・デリミタ

項目	Default 値	
	パッケージ	デリミタ
プレフィックス	(空欄)	<0x0D>
サフィックス	(空欄)	(空欄)

出力順序・言語

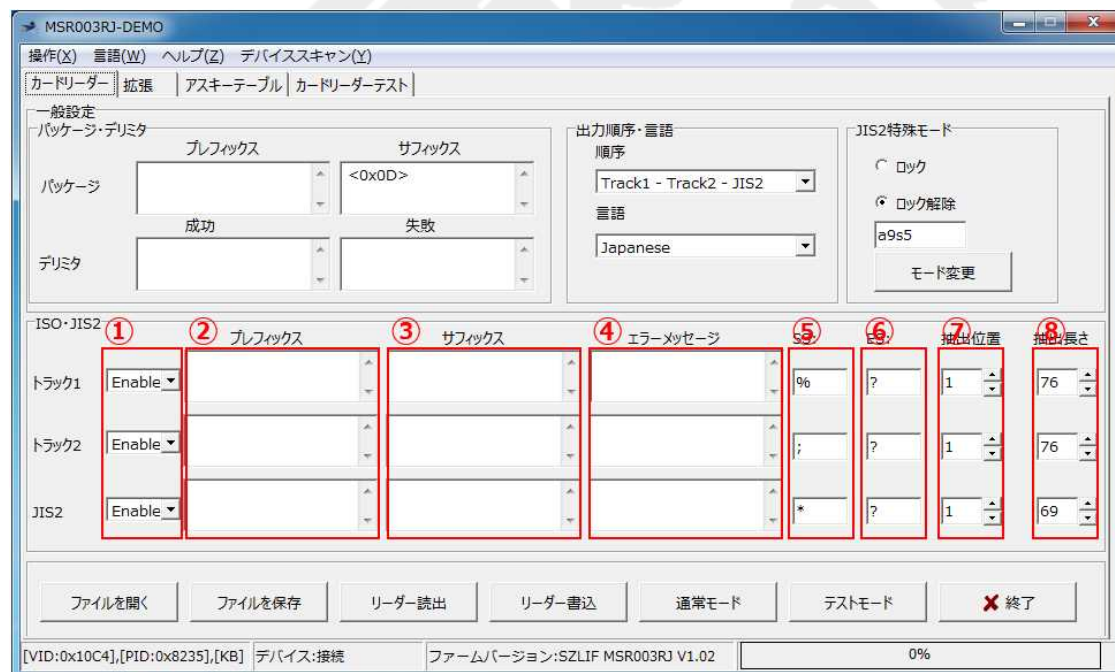
項目	Default 値
順序	Track1-Track2-JIS2
言語	Japanese

JIS2 特殊モード

項目	Default 値
ロック/ロック解除	ロック
対象文字列	a9s5

Ⅲ-2-1-2. ISO・JIS2

「ISO・JIS2」にある各機能の説明をします。ここでは、トラック 1/トラック 2/JIS2 それぞれに個別に設定が可能です。



項目	詳細
① 読込制限	Enabled (読込可)、Required (条件付き読込)、Disabled (読込不可) を設定することができます。 Enabled : このコードを読み取るようになる

	<p>Required: このコードがないと、エラーを返す このコードがあると、通常通り読み取る</p> <p>Disabled: このコードを読み取らなくなる</p>
② プレフィックス	設定した値を、読み取ったパッケージ情報の先頭に挿入して出力します。設定可能な値は、任意文字列と<0x00>~<0x1F>のアスキーコードです。
③ サフィックス	設定した値を、読み取ったパッケージ情報の末尾に挿入して出力します。設定可能な値は、任意文字列と<0x00>~<0x1F>のアスキーコードです。
④ エラーメッセージ	読み取りに失敗した場合に、設定した値を出力します。設定可能な値は、任意文字列と<0x00>~<0x1F>のアスキーコードです。
⑤ SS:	設定した値を、「②プレフィックスで設定されている値」と「読み取ったパッケージ情報」の間に挿入して出力します。設定可能な値はひとつのみ、任意文字列と<0x00>~<0x1F>のアスキーコードです。
⑥ ES:	設定した値を、「読み取ったパッケージ情報」と「③サフィックスで設定されている値」の間に挿入して出力します。設定可能な値はひとつのみ、任意文字列と<0x00>~<0x1F>のアスキーコードです。
⑦ 抽出位置	読み取ったパッケージ情報を抽出するときの開始位置を設定します。
⑧ 抽出長さ	読み取ったパッケージ情報を抽出するときの⑦開始位置からの長さを設定します。

default 値は以下になります。

項目	Default 値		
	トラック 1	トラック 2	JIS2
読込制限	Enabled	Enabled	Enabled
プレフィックス	(空欄)	(空欄)	(空欄)
サフィックス	(空欄)	(空欄)	(空欄)
エラーメッセージ	(空欄)	(空欄)	(空欄)
SS:	%	;	*
ES:	?	?	?
抽出位置	1	1	1
抽出長さ	76	76	69

### Ⅲ-2-1-3. 各種ボタン

「カードリーダー」タブのボタンは、メニューバーの「[Ⅲ-1-1. 操作](#)」と同じ動作です。



### Ⅲ-2-2. 拡張

「拡張」タブでは、MSRO03RJ 本体の挙動を設定することができます。



項目	詳細
① モード※1	認識させるモードを Keyboard/HID に設定できます。
② リーダー	MSRO03RJ 本体のカードリーダー部を有効/無効にします。
③ ブザー	MSRO03RJ 本体のビープ音を有効/無効にします。
④ OPOS※2	OpenPOS 対応を有効/無効にします。
⑤ 間隔	読み取った情報を 1 文字ずつ出力する時間の間隔を設定できます。数値が小さいほうが間隔が早く、数値が大きいほうが間隔が遅く出力されるようになります。

⑥ クリア	①～⑤に設定した情報を MSR003RJ 本体に書き込みます。
⑦ 確定	MSR003RJ 本体の設定を①～⑤に読み込んで表示します。
⑧ 戻る	「カードリーダー」タブに戻ります。

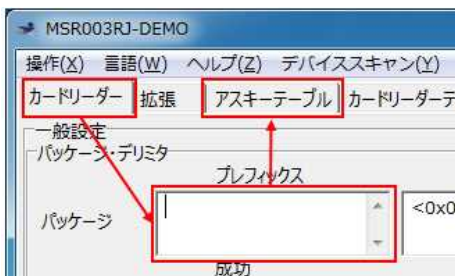
※1:[Keyboard]から変更しないでください。それ以外だと、動作の保証ができません。

※2:[OFF]から変更しないでください。それ以外だと、動作の保証ができません。

### Ⅲ-2-3. アスキーテーブル

「カードリーダー」タブの対象欄を選択後、「アスキーテーブル」タブを選択することで、対象欄に選択したアスキーコードを送ることができます。対象欄は、プレフィックス、サフィックス、エラーメッセージ、SS:、ES:の各欄です。

①「カードリーダー」タブの対象欄を選択し、パッケージのプレフィックス欄を選択します。そのあとに、「アスキーテーブル」タブを選択します。



②「アスキーテーブル」タブが表示されます。



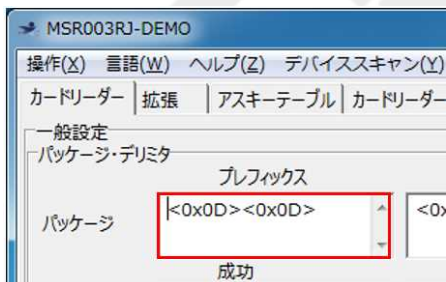
項目	詳細
① ASCII TABLE	<0x00>から<0x1F>までのアスキーコードが、ボタンで表示されています。
② 入力欄	①で押したボタンのコードが表示されます。

③ 入力箇所	選択されている「カードリーダー」タブの対象欄が表示されます。
④ 入力文字数	②に入力している文字数が表示されます。
⑤ 最大文字数	選択されている「カードリーダー」タブの対象欄の最大文字数が表示されます。
⑥ クリア	②に入力した情報を消去します。
⑦ 確定	②に入力した情報を、選択されている「カードリーダー」タブの対象欄に入力します。押すと、「カードリーダー」タブに戻ります。
⑧ 戻る	「カードリーダー」タブに戻ります。

③ [0x0D] ボタンを 2 回押し、入力欄に<0x0D><0x0D>と表示されたら[確定]ボタンを押します。

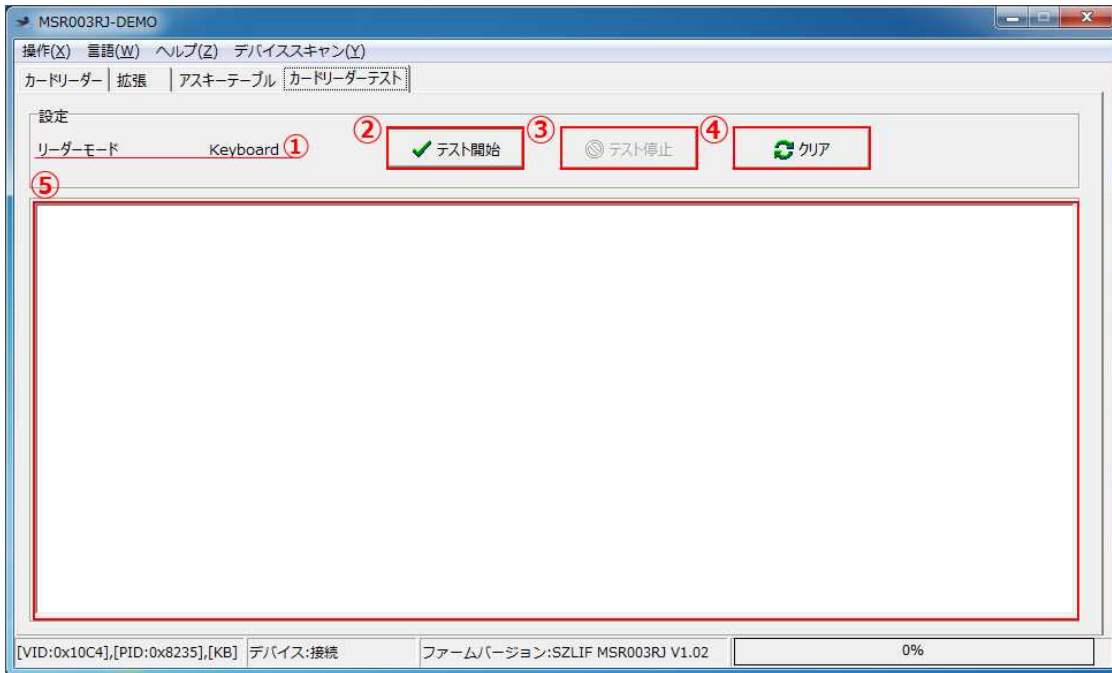


④ 「カードリーダー」タブに移動し、パッケージ-プレフィックスの欄に<0x0D><0x0D>と表示されます。



### Ⅲ-2-4. カードリーダーテスト

「カードリーダーテスト」タブでは、読み取ったカードの情報をデモソフト上に表示することができます。



項目	詳細
① リーダーモード	現在の MSRO03RJ 本体のモードを表示します。
② テスト開始※	テスト開始状態になります。
③ テスト停止	テスト開始状態を終了します。
④ クリア	入力欄に表示されているカード情報を削除します。
⑤ 入力欄	読み取ったカード情報が表示されます。

※ 「カードリーダーテスト」タブ上でカードを読み取ると、自動的にテスト開始状態になります。

### Ⅲ-3. ステータスバー

ステータスバーの表示について説明します。



項目	詳細
① 機器接続情報	MSRO03RJ 本体の USB 接続情報を表示しています。
② デバイス認識	MSRO03RJ 本体が接続されているかを表示しています。接続時には「接続」、非接続時には「接続解除」と表示します。
③ ファームウェア表示	②で接続されている機器のファームウェアバージョンを表示します。
④ プログレスバー	設定/確認タブで MSRO03RJ 本体への読出/書込を選択したときに、その読出/書込の進捗を表示します。



## IV. 保証事項

### IV-1. 保証期間

- ・保証期間は納品日より1年間とします。但し、外観に関するキズ等による不具合は納品日より1ヶ月とします。
- ・保証期間内に正常な使用状態に於いて故障した場合は製品解析を行い、弊社起因による不良と判断された場合にのみ交換または修理を致します。

### IV-2. 保証対象

- ・保証対象は納入品のみを対象とします。納入品の故障により誘発される損害は対象とされません。また、現地における製品修理・交換は行いません。
- ・納期延滞や不具合による対応はできる限り敏速に対応しますが、生産ラインの保証や損害は致し兼ねます。

### IV-3. 有償保証

- ・保証期間を過ぎた製品は有償での保証と致します。
- ・以下の場合は保証期間内におきましても有償保証となります。
  - ①取扱不備による落下等の衝撃により生じた故障
  - ②天災、火災により生じた故障
  - ③製品が組み込まれている(または接続されている)他部品や機器に起因して生じた故障
  - ④改造・分解により生じた故障
  - ⑤コーヒーやジュース等水分の浸入により生じた故障

### IV-4. 仕様変更

- ・本製品は標準品の為、機能に影響を及ぼさない範囲で事前告知無く仕様を変更する場合がございます。